

## 審議会等会議録

会議の名称	令和7年度第2回 加須市地域公共交通会議
開催日時	令和8年1月28日（水） 午後1時15分から午後2時30分まで
開催場所	加須市役所 本庁舎5階 505会議室
議長氏名	萩原 利一 会長
出席委員	萩原 利一 会長 田沼 健一 委員 熊谷 レアンドロ 委員 斎藤 年一 委員 小池 毅 委員 羽鳥 善治 委員 石原 肇 委員 町田 彰 委員 内田 親 委員 川村 英輝 委員 田沼 由美子 委員 飯塚 光弘 委員（代理：渡邊 光一 氏） 前田 孝徳 委員（代理：小山 知道 氏） 古川 雄哉 委員（代理：島根 淳 氏）
欠席委員	関根 肇 委員 石川 安則 委員 武正 寿明 委員 山田 哲洋 委員 松林 秀樹 委員 井戸田 英和 委員
会議次第	1 開会 2 委嘱 3 会長あいさつ 4 議事 （1）地域公共交通確保維持改善事業費補助金の事業評価について 5 報告 （1）コミュニティバスの利用状況について （2）令和6年度デマンド型乗合タクシー等運行改善検討業務について （3）民間路線バスの減便（予定）について （4）第2次加須市地域公共交通計画の策定について 6 その他 7 閉会
会議資料の名称	資料1 地域公共交通確保維持改善事業における事業評価について 資料2 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 （地域公共交通計画に基づく事業） 報告1 コミュニティバスの利用状況について 報告2 令和6年度デマンド型乗合タクシー等運行改善検討業務について 報告3 民間路線バスの減便（予定）について 報告4 第2次加須市地域公共交通計画の策定について
会議の公開又は 非公開の別	公開

非公開の理由	—
傍聴者の数	1人
説明者の職・氏名	政策調整課長 瀬田 博之
事務局職員職・氏名	総合政策部長 石井 幸子 騎西総合支所地域振興課長 正能 光 北川辺総合支所地域振興課長 新井 弘樹 大利根総合支所地域振興課長 阿部 浩明 政策調整課長 瀬田 博之 同課 主査 関根 徹 同課 主事 宮本 龍一 同課 主事補 中川 龍之介
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
事務局	2 委嘱
萩原会長	3 会長あいさつ
萩原会長	4 議事 (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金の事業評価について、事務局から説明をお願いします。
瀬田政策調整課長	(資料1・2に基づき説明)
萩原会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
川村委員	資料2 シャトルバスの事業評価について、令和7年度の1日平均利用者が前年度と比較し減少しているが、その理由は何か。
瀬田政策調整課長	利用者が前年度比で減少しているものの、減少幅は軽微であり、利用動向としては概ね横ばいの範囲と捉えている。
石原委員	事業評価の数値目標が高すぎるように思えるが、数値の根拠は。
政策調整課 関根主査	令和3年度に策定した加須市地域公共交通計画の中で定めたものである。来年度に加須市地域公共交通計画の見直しを行う予定なので、そのときに検討したい。
石原委員	数値目標を達成できなかった場合、補助額に影響はあるのか。
政策調整課 関根主査	影響はない。
町田委員	シャトルバスのニーズはどの程度あるものか。また、デマンド型乗合タクシーの利用登録者数の目標は既に達成しているが、目標の更新などは行わないのか。
瀬田政策調整課長	来年度に加須市地域公共交通計画の見直し時期に、適切な目標の設定や、公共交通のルートなどご意見をいただきたい。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
萩原会長	町田委員のご意見については課題と感じている。コミュニティバス全体の在り方について、次第6「その他」にてご意見いただきたい。
萩原会長	他にご質問等はないようなので、これまでいただいたご質問・ご提言の内容を十分に踏まえていただくこととして、本会議として今回事務局から提出された案の通り、皆様のご了解をいただくということによろしいか。
各委員	(異義なし)
萩原会長	5 報告 (1) コミュニティバスの利用状況について、事務局から説明をお願いします。
瀬田政策調整課長	(報告1に基づき説明)
萩原会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
町田委員	デマンド型乗合タクシーを利用する住民のうち、ほとんどが加須地域の住民だと感じているが、大利根地域の住民の利用はあるか。
政策調整課関根主査	すぐ出せる資料がないため、後日報告させていただく。
萩原会長	事務局はデマンド型乗合タクシーの利用実態について、エリアごとに加須地域、騎西地域、北川辺地域、大利根地域に分けて集計し、資料を各委員に配布すること。 その他に意見がないため、(2) 令和6年度デマンド型乗合タクシー等運行改善検討業務について、事務局から説明をお願いします。
瀬田政策調整課長	(報告2に基づき説明)
萩原会長	事務局説明を受けて、ご意見ご質問があればご発言いただきたい。
町田委員	運転手の働き方改革を無視することはできないと思うが、コミュニティバスの運行目的を考えると、高齢者や免許返納者などの移動の利便性を図ることが最優先ではないか。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石井総合政策部長	<p>これまで市民の利便性向上のため、幾度となく運行の見直しを行ってきた。しかし、働き方改革や運転手不足、運転手の高齢化が深刻化しており、運転手が辞めてしまって運行事業者が悩んでいるのが現状である。</p> <p>この会議では、そういった情報を提示し、課題を共有するためにシミュレーションの結果を出させていただいた。</p>
萩原会長	<p>加須市の大きな課題の一つとして認識している。今後、ますます高齢化は進み移動支援のニーズは高まっていくため、引き続き検討していきたい。</p>
町田委員	<p>先日ブロンズ会議フォーラムに参加し、他地区ではデマンド型乗合タクシーの利用登録会を開催していることを知り、自分の住む地域でもそのような活動をする必要があると感じた。</p> <p>しかし、利用者が増加することで運転手の負担が増加し、結果的に運転手不足になってしまうことが問題だと思う。だが、利用が増えること自体は良いことと思うので、何か取組を考えてみたい。</p>
萩原会長	<p>委員の皆様からも様々なアイデアや意見をいただければ大変ありがたい。</p>
川村委員	<p>運輸局の見解として、市民の利便性確保よりも事故防止が最優先であり、労働時間改善基準告示は必ず守っていただく必要がある。国土交通省が立ち上げた「交通空白解消・官民連携プラットフォーム」では、全国の自治体や交通事業者、民間企業の連携・協力体制を構築し、交通空白解消に向けて取り組んでいるので、加入を検討していただきたい。</p>
萩原会長	<p>その他に意見がないため、(3)民間路線バスの減便(予定)について、事務局から説明をお願いする。</p>
瀬田政策調整課長	<p>(報告3に基づき説明)</p>
萩原会長	<p>事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
田沼委員	<p>今回の減便について、運転手不足が一番の理由である。平成 21 年 11 月から朝日自動車の自主路線として運行を始めたが、当初から乗り込みが悪く、埼玉県の補助金や加須市・久喜市から補助金の交付を受けても収支が厳しいため、少しでも改善すべく利用が少ない便を減便してきた。</p> <p>令和 6 年 10 月の減便時には、土日の利用がほとんどないことから、運行自体の取り止めも検討していたが、定期券利用者もいることから運行を継続している。</p> <p>令和 8 年 4 月から、朝の始発帯と夜の時間帯で 4 便から 6 便の減便を検討している。現時点では、乗降調査が終わったところなので、この後ダイヤを作成していく。</p> <p>毎年運転手が入っては辞めを繰り返しており、賃上げ等の対策は行っているが採用は充足していない。今後も可能な限り継続していけるよう取組をしていくので、減便にご理解いただきたい。</p>
石原委員	<p>減便の要請を受け、どのくらいの影響があるか市は把握しているのか。</p>
瀬田政策調整課長	<p>具体的なシミュレーションは行っていない。令和 5 年度の利用人数が約 15 万 6 千人、令和 6 年度が約 13 万 500 人であるため、約 2 万 6 千人減少したが、減便に伴う苦情等は寄せられていない。今後も利用者の減少が見込まれるため、朝日自動車と協議を進めていきたい。</p>
石原委員	<p>実情に沿った内容のため、減便は致し方ないという認識で良いか。</p>
瀬田政策調整課長	<p>市ができる支援策について今後検討し、朝日自動車に運行継続していただけるよう協議していく。</p>
石原委員	<p>利用者は豊野台テクノタウンに勤務する人が大部分を占めているのか。</p>
田沼委員	<p>バス停留所ごとの直近の利用者では、東鷲宮駅西口、鷲宮駅東口、川口コミュニティセンター前の順が多い。運行当初から川口コミュニティセンター前は多かった。</p>
萩原会長	<p>川口のさくら通りの停留所に利用者が並んでいる光景を何回か確認している。豊野台テクノタウンについては、自前の送迎バスを運行している可能性など、利用者が減少している原因と併せて確認させていただく。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
萩原会長	また、2月5日から始まる令和8年第1回定例会で議案として提出するが、物価高騰対策支援を運行事業者に対して行う予定がある。減便への対応ではないが、市として全く対応していないわけではないことをご理解いただきたい。
萩原会長	その他に意見がないため、(4)第2次加須市地域公共交通計画の策定について、事務局から説明をお願いします。
瀬田政策調整課長	(報告4に基づき説明)
萩原会長	第2次加須市地域公共交通計画を来年度に作成する段階で改めて協議させていただきたい。
萩原会長	6 その他 何かご意見ご質問があればご発言いただきたい。
田沼委員	デマンド型乗合タクシーについて、運行効率改善のためA Iシステムを導入されたと思うが、そのことにより利用者目線で見ると予約が取りやすくなったと伺っている。しかし、運転手から聞く話によると、休憩時間を設けてはいるものの、運転手用タブレットの確認や次の配車場所に向かうことなど、実際には休めておらず、改善基準告示に抵触する運行もあった。そのため、今後運行改善を検討する際には、システム会社と運行事業者との協議を密に行っていただきたい。
瀬田政策調整課長	デマンド型乗合タクシーは、午前中は7時便から12時便までの6時間稼働しているため、予約状況によっては改善基準告示で示されている「4時間連続運転した場合に30分以上の休憩が必要」という基準を満たせていないことも確認している。そのため、午前中6時間稼働している中で1時間の休憩を入れる検討を進めており、見通しが立ち次第改めて説明させていただく。
町田委員	若い人の転出が多い要因の一つとして、公共交通の不便さが挙げられると思う。高齢者だけでなく、若い世代のことも考えて改善などの検討を行っていただきたい。
内田委員	コミュニティバスを利用したことがないため、データなどを見ても理解が難しいこともある。例えば、北川辺の駅から済生会加須病院まで乗車体験しても良いのではないか。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
<p>瀬田政策調整課長</p> <p>萩原会長</p> <p>事務局</p>	<p>来年度は第2次加須市地域公共交通計画の策定期間でもあるので、乗車体験を望む声があれば対応できるようにしておく。</p> <p>以上をもって、本日予定された議事を全て終了する。 委員の皆様には、活発なご議論と貴重なご意見を頂戴し、円滑な進行にご協力いただいたことにお礼申し上げます。</p> <p>7 閉会</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和7年2月16日</p> <p>署名 <u>萩原 利一</u></p>	